

## 「桜を見る会」前夜祭における「会費補填」報道をめぐって

2020年11月24日

「桜を見る会」を追及する法律家の会

世話人 弁護士 泉 澤 章

### 1 「桜を見る会」前夜祭における「会費補填」報道

本年11月23日、安倍前首相が主催した「桜を見る会」前夜祭において、東京地検特捜部は、安倍前首相側が費用の一部を補填していた疑いがあるとして、政治資金規正法等の容疑で安倍前首相の公設第一秘書や私設秘書、地元の後援会員などから任意で事情を聴取しているとの報道がなされた。その後の報道を総合すると、安倍前首相側が前夜祭開催のためホテルに支払った総額に比べて、参加者から徴収した会費総額は少額であって、その差額となるおよそ800万円強を、安倍前首相側がホテル側に支払っていた疑いがあるというのである。

### 2 安倍前首相らの行為は、明白な違法行為である

この間、前夜祭問題を追及されてきた安倍前首相は、国会質問において、ホテルとの契約主体は個々の参加者であるとか、参加費は会場入り口の受付で1人5000円を集金してそのままホテル側に渡しているから、後援会としての収入も支出もないなどと述べてきた。しかし、これら報道によると、安倍前首相の後援会は、自らが主催する前夜祭において参加費を集めたうえで、ホテルからの請求された金額との差額を一部負担してホテル側に支払っていたというのである。安倍前首相のいうとおり、ホテルとの契約主体が個々の参加者であるならば、後援会で差額を補填する必要はないどころか、むしろあってはならないはずである。安倍前首相の後援会による差額補填の事実があるとしたら、それは政治資金規正法における支出であって、収支報告書への不記載が同法違反にあたることは明らかである。また、差額分にあたる酒食の提供は、参加した後援会会員に対する無償提供として寄付にあたり、公職選挙法に違反することもまた明らかである。

### 3 安倍前首相は、率先して事実関係を明らかにすべきである

今年に入って本格的に国会で「桜を見る会」疑惑は追及されてきたが、今年8月に安倍前首相が体調不良を理由に首相辞任を表明し、その後安倍前首相に代わって菅義偉前官房長官が新首相に就任すると、安倍前首相への責任追及も事実上弱まっていた。しかし、仄聞するに、安倍前首相の体調はすでに回復し、ポストコロナ経済議連会長や東京五輪・パラリンピック組織委員会名誉顧問などの要職に就いているとのことである。刑事告発に基づく東京地検特捜部の捜査が進んできた今、安倍前首相がまずやるべきなのは、自ら率先

して本件の事実関係をすべて明らかにすることである。

#### 4 菅首相も責任を免れることはできない

菅首相は、安倍前首相が「桜を見る会」及びその前夜祭を開催していた時期、政権のナンバー２である官房長官という地位にあった。さらに国会で「桜を見る会」参加者名簿の開示が求められた際、名簿の破棄について弁明してきたのも、菅首相自身であった。菅首相は就任するや、「桜を見る会」を来年から中止すると表明したが、これは「臭いものには蓋」の姿勢にほかならない。「桜を見る会」による国政私物化の責任は、安倍前首相だけではなく、当時から政権中枢にいた菅首相自身の責任も問われていることを自覚すべきである。

#### 5 最後に

私たち『「桜を見る会」を追及する法律家の会』は、一国の首相による国政私物化と違法行為をこのまま座視できないとの強い思いで、今年二度にわたって全国の法律家による刑事告発を行い、その数はすでに1000名に近づいている（現時点で941名の告発状を東京地検に提出）。今回の報道で東京地検の捜査が進んでいることはわかったが、政治的駆け引きでこの問題に幕を引かせることのないよう、これからも捜査の進展については注意して見てゆきたい。そしてこれからも、当初から私たちが目指してきた、わが国の民主主義と法の支配の回復に、資する活動を続けてゆくつもりである。

以上